

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	・例年7～8月は来客数、売上点数が増えることにより、売上が増える。今年は新たにイベントが増えるようなので、さらに良くなる。
		コンビニ（経営者）	・ゴールデンウィークがあり、気温も高くなってきているので、来客数が見込める。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・客はどんな葬儀を行うかによって、葬儀社を使い分けているようである。また、少子化により親戚が少なくなっており、少人数の葬儀が増えている。
		スーパー（総務担当）	・売上は前月同様に前年割れの状況だが、今月に入って来客数だけは前年並みになっているので、少し客が戻ってきている。今後は売上が増えていくのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・来客数がいくらか伸びてきているので、売上は少し良くなるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・これから暑くなるなかで、コンビニの販売アイテムは、客から支持されて売上が伸びることが予想されるので、今後はある程度期待できる。
		コンビニ（経営者）	・平日の売上は伸びていないが、給料日の20日以降は、順調に推移している。また、土日の来客数が105%で伸びているため、平日の売上をカバーしている状況である。
		コンビニ（店長）	・4月の来客数は普通だったが、雑貨を中心とした値下げ品が増えている。それが影響したのか、客単価が今までになく落ち込んでいる。3か月後は回復すると期待している。
		衣料品専門店（統括）	・各地で春の祭礼行事が始まった。これから秋まで、いろいろな行事が行われる。商店街では、例年より冬場の人出が非常に悪く、売上につながらない状態が続いていた。最近多少ではあるが、祭礼用品の注文が入るようになり、今後、少し期待ができる。
		乗用車販売店（経営者）	・そろそろ地方にも景気回復の波が、多少来ているようである。
		乗用車販売店（経営者）	・当店の販売量や取引先の動きが良い。
		乗用車販売店（販売担当）	・当店は観光地を控えている。鉄道会社が近隣温泉地の路線に力を入れてきており、S L列車を走らせて、観光客を誘致している。そうした結果、ホテル関係の売上が増えてくれば、今後の明るい材料になるのではないかと。
		自動車備品販売店（経営者）	・良くなる理由は、今のところ何も見当たらない。2か月悪いと3か月後くらいには、ある程度動きが発生している。7月ごろには多少の動きが期待できることや、自社でも動きの少ない場合は、いろんな仕掛けをしながら帳尻を合わせているため、3か月後にはやや良くなる。
		住関連専門店（経営者）	・設備投資に対する即時償却や償却率アップの政策は、景気が戻りつつある現状に有用に作用して、更なる良い循環をもたらすのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・希望的観測も含めての回答だが、気候が暖かい方向に落ち着いてきたことと、会計時に1万円札での精算が目立ってきている。
		観光型ホテル（経営者）	・ゴールデンウィーク明けから夏休みまでは、一旦来客数が減るものの、前年比105%前後で推移する予想である。その後の夏休み、特に8月は当地では11月に次ぐハイシーズンとなるので、来客数が伸びる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・5～6月の売上も前年同期比でプラスに転じ、順調に推移している。
		旅行代理店（経営者）	・半年先くらいまでは、客単価、宿泊単価の上昇がみられるため、多少は取扱額が増えて良くなるのではないかと。
		旅行代理店（所長）	・大型観光キャンペーンは3か月続くので、その効果が徐々に出てくる。
		テーマパーク（職員）	・新駅の開業や新型特急、S L列車の運転開始などの話題に加え、プレ大型観光キャンペーンの実施など、明るい話題が多い。今年のゴールデンウィークは大型連休であるため、期待が持てる。
	観光名所（職員）	・好調な入込を見せている外国人観光客も、山に雪がなくなる頃には落ち着くが、今年は街を挙げての大きなイベントや大型観光キャンペーン等の特需に期待している。	
	美容室（経営者）	・年度の始まりで、ヘアカラー、ヘアパーマの製品説明会が頻りに開催されている。単価の高いヘアカラーとヘアパーマに各社力を注いでいる。各店とも売上を増やすのに必死である。節約志向が依然強いいため、高価格の複合施術を希望する客はまだ少ない。	

その他サービス〔貸切バス〕(経営者)	・春の旅行シーズンに入るため、やや良くなる。
商店街(代表者)	・特にこれといった理由はないが、このまま変わらないのではないかと。
商店街(代表者)	・安定した当地ゆかりの武将ファンが増えたため、前年の半減ではあるが、期待はできる。
一般小売店〔精肉〕(経営者)	・近場で、北朝鮮の危機感が広まっているので、お金の使い方とうきうき感もなく、慎重に考えているようである。
一般小売店〔家電〕(経営者)	・エコポイントや地上デジタル放送対応でブレイクしたテレビの買換え需要が少しずつ来ている。かと言って販売分が全て同時に買換えになる訳ではない。購入店舗で買換えてもらえるかどうか、これからの生き残りにかかっている。消費者の弱い購買意欲では売上増は期待できない。
一般小売店〔家電〕(経営者)	・現状、買換え以外はなく、そこからプラスアルファは期待できない。
一般小売店〔家電〕(経営者)	・最近、ヒット商品がないことと、エアコンの動きも例年より遅れているようである。
百貨店(営業担当)	・景気が良いという生活実感が、なかなかなく、これまでと同様、個人消費は慎重な買い方が続く。
百貨店(営業担当)	・衣料品がやや回復しつつあるため、多少の期待は持てるが、何かが良いと何かが悪くなる傾向は強まっており、店全体では変わらない状況が続く。
百貨店(販売促進担当)	・消費者の購買意欲は依然として低い。食品物産展など一部好調な部分もあるが、店舗全体で大きなシェアを占める衣料品の回復が、全くみえてこない。
百貨店(店長)	・地方では消費は停滞したまま上向く気配がなく、購買単価も下がったままである。食品等必需品はまずまずであるが、衣料品、宝石、絵画等の高額品やし好品は非常に厳しい。
スーパー(統括)	・世界経済の先行きや世界の政治に対する不透明さ等を連日マスコミ報道から耳にすることで、消費意欲が少しずつ減退していきのではないかと。
スーパー(商品部担当)	・売上対策を行うにも、人材不足により大きなイベントなどが打ちづらく、現状維持できれば御の字である。また、ここ数か月の売上、来客数、客単価のいずれをみても変動のない数字が続いている。
スーパー(副店長)	・現状、売上は前年を超えているものの、来客数はほぼ前年並みで、まだまだ節約志向である。2～3か月先の夏のボーナス商戦も期待はあるが、現状から大幅に景気が上向く気配はない。
コンビニ(店長)	・近隣の工事が終わったため、工事関係の来店客はなくなるが、通常の客は戻ってくるので、あまり今月と変わらない。
衣料品専門店(販売担当)	・当店で、景気の良し悪しのバロメーターの一つとして、クレジットカードの使用率がある。このところ、クレジットカードを使う客が、かなり減っている。やはり、後々払うことになるクレジットカードを使う余裕というか、そういう感覚的なものが不安に思えて、クレジットカードを使わないのではないかと。今まで使っていたような客も、クレジットカードの使用を控えているようである。このまましばらくは変わらず推移するのではないかと。
乗用車販売店(経営者)	・新型車の発売がまだ先のため、受注の回復はあまり見込めない。
乗用車販売店(販売担当)	・今月は好調であったが、今月の結果のみで良くなるとは言えない。来客数は徐々に増えているが、例年4月は増えて5～6月はあまり良くないので、変わらない。
乗用車販売店(管理担当)	・依然として、新車の商品力不足は解消されず、他社との競争は更に激しくなる。
自動車備品販売店(経営者)	・客単価、あるいは一組当たりの販売数を伸ばすことに注力しており、効果は出ている。ただし、固定客の数は、純減傾向が続いている。
住関連専門店(店長)	・前月、前々月同様、来客数がほぼ前年と変わらない。
住関連専門店(仕入担当)	・景気が上下する理由はなく、当面は今の閉塞感を抱えた消費傾向が続く想定で、今後の経営を考える。
その他専門店〔燃料〕(従業員)	・受注からみて、前年と変わらない。
その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・服装品のトレンドが弱く、収益の根幹が改善の見込みがない。エンゲル係数も4年連続の上昇で、衣料よりも食を重視する傾向があまりにも顕著である。
一般レストラン(経営者)	・客の動きは多少良くなっているが、駅、インターチェンジ周辺に3～4店舗新規開店したため、客の奪い合い状態が続く。

一般レストラン（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
スナック（経営者）	・毎回同じような回答だが、給料は上がり、出ていく方が多い状態のようである。娯楽にはなかなかお金が回ってこない。何か良い方法はないものか。
観光型旅館（経営者）	・春から夏の売上は、今月同様、前年の大河ドラマの反動で、減少傾向が続く。夏頃から大型観光キャンペーン、日本の旬などのイベントにより売上が増加に反転することを期待したい。
都市型ホテル（営業担当）	・3～4月は、通常はもう少し良い。現状は、例年通りの稼働で、大きな需要や今後伸びそうな流れも特別なので、2～3か月後も変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	・6～7月にかけて一部客室のリニューアルを控えているため、予約を調整しながらの販売となる。売上の的にはほぼ前年並みで落ち着きそうである。
都市型ホテル（営業）	・地元企業が好調で現在も良いものの、若干陰りもみえているため、しばらくは現状維持なのではないか。
タクシー運転手	・今月は前半良くなかったものの、その後やや上向いてきている。結果的には前年比95%くらいで終わる見込みである。
タクシー（経営者）	・夜の動きが良くないので、この先も変わらない。
通信会社（経営者）	・この状況が2～3か月で改善するとは到底思えない。
通信会社（経営者）	・新年度を迎えたが、インターネット回線を含めてあまり大きな動きはみられず、好転のきっかけがつかめない。
通信会社（店長）	・今月よりも利幅は取れるようになるが、集客のための広告宣伝費にあてるため、変わらない。
通信会社（営業担当）	・北朝鮮などの有事が起こった場合、経済にも影響があるため、現時点では判断が難しい。
ゴルフ練習場（経営者）	・社会保障や国民の税負担が今後ますます増え、消費が伸びない。
ゴルフ場（支配人）	・ゴールデンウィークは連休が続くため、予約は順調である。連休の予約は、古いも若きも多く入り、ゴルフはまさに生涯スポーツとなっている。
ゴルフ場（総務部長）	・予約状況は、前年同期と比較して同程度か下回っているため、あまり変わらない。
美容室（経営者）	・大学学費無償化は20年遅い。教育国債発行など、子孫に1千兆円ものつけを強いる施策は再考してもらいたい。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・業界全体に、上昇の兆しは見受けられない。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・周年イベント等は、毎年この時期だが、客の予約状況等も例年と変わらず横ばいである。販売量その他、単価等も横ばいであるため、変わらない。
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・北朝鮮情勢の悪化など、景気高揚の要素が見当たらない。
設計事務所（経営者）	・社員数に対して物件数が増えているというえ、計画も少ない。
設計事務所（所長）	・新年度で新聞紙上に多くのしゅん工祝いの記事が掲載されたが、その多くは補助金がらみのものである。地方では、自力での設備投資機運はまだまだのようである。
設計事務所（所長）	・業界や経済団体の集まりでも、あまり良い話を聞かない。首都圏だけが良いという話が多い。
住宅販売会社（従業員）	・比較的的需要のある移住や2拠点居住は、競合する隣県に差を広げられている。
住宅販売会社（経営者）	・北朝鮮の脅威など、外部要因による様子見は考えられるが、実際には関連なさそうである。動きは静かな状態が続く。
商店街（代表者）	・商店街に人が歩いていないため、来客を増やすのは厳しい。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当地の桜も綺麗に咲いたが、景気的にはあまり良くなりないうようである。
スーパー（経営者）	・一般消費者の財布のひもは緩む気配がない。また、大手スーパーやコンビニの値下げCMが悪影響するかもしれない。
コンビニ（経営者）	・周りの景気が悪化している。
乗用車販売店（経営者）	・工場も商業も含めて企業形態が優勝劣敗のようである。もっと下部へお金が流れないと、富の偏在が加速してしまうのではないかと。自助努力するしかないのかもしれない。
一般レストラン（経営者）	・宴会予約件数が例年よりも落ちてきているため、先行きの売上は減少するとみている。
スナック（経営者）	・4月から落ち込んできている理由が分からないので、景気もあまり良くはないのではないかと。もう少し様子を見ないと判断は難しい。

	旅行代理店（従業員）	・北朝鮮問題が心配である。
	旅行代理店（副支店長）	・格安旅行代理店の破産による業界不安が懸念される。国内旅行もツアーの集客が前年に比べて7割程度、海外旅行は5割ほどに落ち込んでいる。朝鮮半島の不安も懸念され、自粛ムードが心配である。
	タクシー運転手	・地方では、ドライバーの数も減少している。一時期の3分の1くらいになっているが、売上は変わらない。
	タクシー（役員）	・新規の人材確保が難しい。
	x 家電量販店（店長）	・現状、好調にけん引する商品群が不在で、厳しい状態が続く。
	x 通信会社（経営者）	・電気、ガス等の規制緩和、自由化により、価格競争が一層激しくなっている。脱デフレを目指しているのに、デフレをあおる緩和は全く間が悪い。いくら消費者物価指数からエネルギーを抜いても、巨大なエネルギー分野にメスを入れれば必ず周りに影響が派生する。本来、行き過ぎたインフレを抑制するためにやる政策ではないか。これでは力のある大企業が市場を独占するだけで、地方の中小零細は衰退する。先進国の中でデフレから脱却できないのは日本くらいである。
企業 動向 関連  (北関東)	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米輸出が好調なうえ、国内販売も20,000台を超えるバックオーダーを抱えているため、良くなる。
	その他製造業 [ 環境機器 ]（経営者）	・10月決算から5か月経過して、売上と粗利が15%増加している。
	建設業（経営者）	・公共事業の発注が増えるため。
	金属製品製造業（経営者）	・良くなることを期待して、いろいろと努力はしているが、まだ結果は出ていない。
	金属製品製造業（経営者）	・5月分の見積依頼が多い。
	一般機械器具製造業（経営者）	・油圧式建設機械や自動車関連の仕事は堅調に推移しており、新規案件の立上げも予定されている。
	食料品製造業（営業統括）	・円安傾向が続いており、この状況が続くと、輸入ワインが抑えられ、国産ワインの輸出に追い風が吹くと考えられる。
	化学工業（経営者）	・東京オリンピック施設等の建設が本格化するが、波及効果があるかどうか、あまり期待はしていない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・本業の受注はなかなか予想が立たないが、夏休み向けイベントの工芸教室、ワークショップ出張に期待している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・リン青銅を使った部品次第である。受注があったとしても、部品が入手困難なため、生産ができないという非常に致命的な打撃を受けている。これは当社だけではなく、リン青銅を使った部品は、ほぼ全国的、世界的にも不足しているようで、今後どうなるか本当に分からない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の動向について、判断材料を持ち合わせていない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・仕事を選ばなければ、なんとか確保はできそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・この先3か月、多少変動はあるものの、生産量は確保している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の販売量、受注量の動きだが、良い会社、どちらとも言えない会社、やや悪い会社が、それぞれ3分の1ずつくらいあるので、今後は株や円と同じように上がったり下がったりで、2～3か月先のことはよく分からない。
	その他製造業 [ 消防用品 ]（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	建設業（開発担当）	・公共工事主体で売上の95%を占めている。現政権誕生後順調に推移してきた公共工事も、今年度は厳しい。地方業者にとって重要な市町村の発注が前年比88%で12%減となっている。当社売上も前年比90%と10%減であり、今期決算が大変心配である。経費節減を図ってきたが、今後もう一段の経費節減を図らざるを得ない状況で、今後が心配である。
	輸送業（営業担当）	・今後についても、季節替わりで夏物商材の家電、エアコン、扇風機、レジャー用品等の物量は、前年並みは確保できそうである。
	通信業（経営者）	・変わる要素がない。
	金融業（調査担当）	・全体の景況感は製造業がけん引し、特に半導体関連を中心に改善が続く見通しである。ただし、米国の政策の行方や欧州の政治情勢、朝鮮半島を巡る地政学リスクなど、海外の先行きに対する慎重な見方も強くなっている。
	金融業（経営企画担当）	・取引先の小売業によると、「相変わらず、客は必要以上の消費を控えている傾向があり、今後の景気浮揚は感じられない。」とのことである。

	新聞販売店 [ 広告 ] ( 総務担当 )	・旅行会社の話では、旅行需要が伸びる時季になってきたが、国内旅行が中心で、情勢不安からか、韓国、中国旅行の申込はほとんどないとのことである。
	社会保険労務士	・最低賃金あたりの賃金は上昇しているが、それ以外はあまり変わっていない。ボーナスも大きな変化はない。
	その他サービス業 [ 情報サービス ] ( 経営者 )	・引き合い、商談数共に、特段の伸びはなく前年と変わらない。
	窯業・土石製品製造業 ( 総務担当 )	・計画や設計段階で発注は先になるため、やや悪くなる。
	建設業 ( 総務担当 )	・7月から資材がさらに値上がりするのではないかと噂もあり、あまり良くない状況が続く恐れがある。
	不動産業 ( 管理担当 )	・退職予定者の話が増えてきているが、人員募集の際に、以前より賃金を増額して募集することができる状況にない。なかなか人が集まらず、人員不足による減収が予想される。
	広告代理店 ( 営業担当 )	・夏に向けて販促活動は停滞するが、例年と変わらない。
×	食料品製造業 ( 製造担当 )	・景況感が悪いいため、消費そのものも上がらず、厳しい状態が続く。
×	出版・印刷・同関連産業 ( 経営者 )	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
×	その他製造業 [ 宝石・貴金属 ] ( 経営者 )	・これから暖かくなると、ジュエリーはライト感覚な物に移っていくため、売上の維持はますます厳しくなる。
雇用 関連 (北関東)	人材派遣会社 ( 支社長 )	・仕事の引き合い数も多く、求職者の問い合わせも多い。何より双方のスピード感が速く、バランスが取れている。
	人材派遣会社 ( 経営者 )	・生鮮食料品、野菜はばらつきがあるが、大分出そろっている。春から初夏に向けての衣料品、服飾関係も在庫がそろい、若干伸びつつある。引き続き、住宅関連の増築、新築等の傾向は、伸びていく。製造業等は依然として、電機、電子、鋼材、自動車部品などは、販売いかんによっては伸びていくと推測している。
	人材派遣会社 ( 管理担当 )	・暑くなり、麺類製造の生産計画、派遣予定がある。
	職業安定所 ( 職員 )	・中東、北朝鮮、EUなど世界情勢に特別な事態が生じない限り、求人数は前年から徐々に増加してきていることから、このまま維持していくのではないかと。
	学校 [ 専門学校 ] ( 副校長 )	・大手企業は、例年通りの動き出しのようである。今ある求人飛びつき、複数の内定を取っている大学生も多いが、職種がまちまちで、最終決定をどのようにするのか決められない学生もいる。同業種でも景気や就職に対する慎重な態度の会社などさまざまである。
	人材派遣会社 ( 経営者 )	・こここのところ仕事が安定しており、あまり動きがない。売上也安定している。
	人材派遣会社 ( 社員 )	・当地区、当社でも人材不足の影響が大変大きい。仕事の依頼があっても、なかなかそれに対応できない、契約できないという状況で、実際に新しい現場が動き始めても、派遣スタッフを使ったりして対応をしている。ある程度仕事はあるが、おそらく取引先も人手がないので、当社のようなビルメンテナンスに依頼してくるわけだが、なかなか対応できない。
	人材派遣会社 ( 営業担当 )	・先行き不安のためか、派遣スタッフから節約という言葉が頻繁に出ている。
	求人情報誌製作会社 ( 経営者 )	・当面、人手不足が解消される見込みはなく、しばらくはこのままの状況が続く。
	*	*
×	-	-